

食



食ブースでは、少しでも親子で参加できる店にしようという目標を定め、

「ぜんざい」「宇治茶づけ」「フランクフルト」「たこ焼き」の4つのコーナーを作りました。

最初は自分たちがやりたいことを挙げていただけなので、とても楽しかったのですが、火気の扱いはどうしよう、保健所への届け出もしなくちゃいけない、と慣れない作業に諦めたくなくなる時もありました。また、親子ゆめひろば実行委員会議でしか顔を合わせられないために、話し合いがうまく進まない時もありました。しかし、実行委員のメンバーで役割を分担しながら、少しずつ必要事項を決めていきました。

当日はお天気にも恵まれ、お客さんもたくさん来てくださり、食ブースの実行委員、そして当日スタッフともに、お客さんとの関わりを楽しみながら活動することができました。

当日のイベントが成功したことは勿論ですが、初めて顔を合わせるメンバーと初めての作業をしたことで、学びの多い機会となりました。今回感じたことやできたことを他の場でも生かしたいと思います。

(食ブースリーダー:ちゃこ)



メイン ステージ



メインステージではプロとして活動する2組の方にステージを飾っていただきました。午前中のステージではミュージシャンの「小倉ユウゴ」さんが「京都」を題材とした自身の楽曲を弾き語りで演奏してくれました。レジャーシートをひいて親子で聴く方、メインステージに近づいて聴く方、各ブース体験の場所でそのまま聴く方と参加者1組1組さまざまな聴き方のスタイルがありましたが大きな会場を音楽を通して共有する時間が生まれていたように思います。

午後のステージを飾ってくれた女性二人組ユニット「天晴れ天女ズ」は、なにわのスーパーアホドルとして10年以上の芸歴を誇る村上三奈さんとキンボールスポーツワールドカップメダリストであるオムニキンゆきえさんによるユニットです。午前中の小倉ユウゴさんも彼女達2人にも会場にいる全員が「プロとは何か」を体現し、実感する時間を共有させていただいたように思います。大きな会場全体の各ブースに各自目的ごとに散らばっていた参加者をメインステージに集めて円をつくりあげてしまう彼女達のパワーと元気に子ども達だけでなく、大人も元気をいただきました。今回の2組の方のステージが子ども達の未来にとって少しでも原体験として残るものとなっていたら嬉しいです。(メインステージ担当:宮崎要輔)